

平成29年分議会評価コメント一覧

		広聴常任委員会	
大項目	小項目	結果	コメント
1 市民参加	市民からの意見の 吸い上げ状況	4	議会報告会に加え、市民議会を計画的に行った。ただし、「5」のように通年または通任期での広聴計画は出来ていない。
	市民の議会参加状況	4	議会報告会の周知方法について、どの地域でも参加できるようPRを行い、複数の場で発言できるよう努めた。また、28年度の参加者より微増している。ただし、「5」のように通任期を通した計画は出来ていない。

		議会運営委員会	
大項目	小項目	結果	コメント
1 市民参加	意見の活用状況	3	個々の活動においては、市民の意見を意識していた。ごみ処理有料化に関する調査特別委員会を市民の意見を踏まえて設置したことなどの取り組みを好例とし、今後は全体で意識することとし、さらには仕組みも検討していく。

※前期中間報告より		全 体	
大項目	小項目	結果	コメント
2 課題解決 能力	各委員会の所管事務調査報告の内容	4	調査報告では、概ね提言的な要素を含むことができた。懇談会や説明聴取、視察等様々な手法を駆使できた。
	市民参加との関連性	3	今後、議会の成果を市民から評価される場の検討が必要。
	議会独自の視点	1	議会全体としては取り組んでいなかった。

大項目	小項目	総務教育		環境厚生		産業建設	
		結果	コメント	結果	コメント	結果	コメント
3 意思決定能力	議案審査に資する委員会の内容	3	委員個々に地域課題の本質を意識した審査を行ったものの、専門委員会と常任委員会との組織的なズレもあり、常任委員会としての検証・深掘りに結びつけることができなかった。	3	個人の疑義等を出し合い、委員会として審査するための一定の合意形成は出来たものの、地域課題の本質までは捉えられなかった。審査することに夢中になり過ぎ、「4」になるための事項が忘れられがち。今後は上の段階も意識する必要がある。	4	・さまざまな角度で議論はしたが、合意形成を図るまでは行っていない。 ・現地調査を行うなど、地域課題は意識している。 ・多様な手法を駆使までは行っているのではないか。 ・委員会として一定の合意形成は図られているのではないか。
	市民参加や課題解決との関連性	4	議会報告会や市民懇談会で得られた市民の意見と、常任委員会の調査結果を踏まえた審査であった。	4	前任の委員会の調査項目等も踏まえ、審査することができた。	3	・市民の意見と関連付けた審査であった。 ・市民の意見の取り入れについては、ウエイトが多くなかったのではないか。 ・チャグチャグ馬コに関して政策的な提言を行っていくべき。
	請願の審査	3	・例年提出されている請願であることを鑑み、紹介議員からの説明で十分と判断し、提出者からの説明は求めなかった。 ・国政に対する案件であったため、聞き取りを行わなかった。	5	委員会として、提出者及び行政から説明を聴取し、様々な角度からの審査ができた。 ※さらに本会議場では反対討論もあり、議会全体でも様々な立場の視点で判断できた。		

広報常任委員会							
大項目	小項目	結果	コメント				
4 透明性	関連資料の公開	2	記事の誤りについては委員会のチェック漏れもあったが、印刷業者の入力誤りも起因しているので評価は「2」とする。今後の原稿チェックの仕方について、①委員毎に紙面を割り当てて必ず事前に確認してくるようになる。②原稿作成のチェックポイントを委員会のたびに用意し、常に確認しながら作業する。				
	政務活動の公開	3	現在の委員会のメンバーではまだ携わっていない項目なので、前回の評価を踏襲する。政務活動の内容については来年度からの政務活動シートの公開により評価のアップが期待される。				
	発信媒体	4	市民への市議会のホームページのPRを積極的に行う必要がある。市議会だよりにQRコードを載せ、ホームページにアクセスできるようにしてはどうか？フェイスブックに関しては今後の研究課題とする。				